

## \* 労働市場速報（平成27年12月分）について（解説メモ）

### 1. 有効求人倍率の動向等 【表2a】

- 有効求人数（季調値）は、104,415人で、前月比0.5%増となった。
- 有効求職者数（季調値）は、104,249人で、前月比0.4%減となった。
- この結果、有効求人倍率（季調値）は1.00倍となり、前月から0.01ポイントの上昇となった。

### 2. 新規求人倍率の動向等 【表2b】

- 新規求人数（季調値）は、35,870人で、前月比1.3%減となった。
- 新規求職者数（季調値）は、23,288人で、前月比2.6%減となった。
- この結果、新規求人倍率（季調値）は1.54倍となり、前月から0.02ポイントの上昇となった。

- 主要産業別新規求人数（原数値～前年同月比）は、情報通信業（10.9%減）、宿泊業、飲食サービス業（10.4%減）、医療、福祉（2.7%減）で減少した。他の産業は増加した。

全産業では前年同月比3.6%の増加であった。【表4】。

### 3. 常用新規求職者の態様別動向等 【表5】

- パートタイムを除く常用新規求職者（原数値）を態様別に見ると、離職者（前年同月比5.3%減）、在職者（同2.3%減）、無業者（同18.9%減）でともに減少した。

### 4. 雇用保険受給者の動向 【表6】

- 雇用保険受給者の動向については、12月の受給者実人員は26,641人で、前年同月比4.9%減少した。

#### （雇用情勢の概況）

12月の有効求人倍率（季調値）は1.00倍で前月から0.01ポイント上昇。求人・求職の動きは、新規求人数（原数値）は、前年同月比3.6%増加、新規求職者（原数値）については、5.2%減少した。

県内の景気は、緩やかに回復している。雇用情勢については、持ち直している。

■景気判断は日銀横浜支店（12月）

■雇用情勢判断は上方修正

今後、雇用情勢について引き続き注視してまいりたい。